

これからが本当の戦い

「電力は足りている。原発はいらないです」

。JR岐阜駅北側のデッキで今月1日夜、市民団体「さよなら原発・ぎふ」のメンバーが関西電力大飯原発（福井県）の即時停止を求めるビラを配った。家路を急ぐサラリーマンや学生たち。立ち止まり、ビラを受け取る人はまばらだ。「時間がない」と叫ぶ彼方の出来事なのかもしれない。代表の農業、石井伸弘さん（41）＝北方町＝はチラシを配る手を止め

てつぶやいた。

きっかけは東日本大震災だった。「原発銀座」と呼ばれる若狭湾から近い岐阜県。原発事故が起きれば放射性物質が県内に飛散するかもしれない。石井さんたちは仲間と団体をつくる。2012年3月に福井県美浜町の海岸から風船1000個を飛ばし、放射性物質の拡散状況調査をした。約60

名南東の垂井町で見つけたのを始め、県内で82個が確認された。岐阜市

脱原発



2013 参院選 の足元

岐阜



一時の熱気どこへ



JR岐阜駅前で大飯原発への抗議活動をする「さよなら原発・ぎふ」のメンバー

内でも脱原発パレードを 3月には約800人が集
実施し、震災1年の12年 3月には約800人が集
まった。JR岐阜駅前

の集会では、通りがかり

の人たちが足を止め、1
時間に約300枚のチラ
シがなくなった。

各地で大きなうねりを
見せた脱原発運動。毎週

金曜夜に首相官邸前で行
われたデモには多い時に

は数万人が詰めかけた。

昨年7月に名古屋・栄
で行われた脱原発デモに

も約1000人が参加。

党派や所属を超えて多く
の市民が集まった。

しかし、震災後初の国
政選挙となった昨年12月

の衆院選では、脱原発を
掲げた政党が乱立。票を

奪い合い、脱原発を掲げ
る勢力は伸び悩んだ。

21日投票の参院選。
毎日新聞が行った特別世

論調査で、参院選の争点
として「原発・エネルギー

政策」を挙げた有権者
は10%。「景気対策」の

32%や「年金・医療・介
護・子育て」の28%を大

きく下回った。

だが、同団体メンバ
ーの近藤ゆり子さん（64）＝

大垣市＝は「これまでの
取り組みは次につなが
る」と悲観していない。

昨年5月、国内の原発
50基全てが止まった。7
月の関西電力大飯原発3
号機の再稼働で停止期間
は56日間だったが、「国
内すべての原発が停止し
たことは画期的」と評価
する。

脱原発に対する一時の熱気は見られない。しかし「原発は要らないと感じた有権者の思いが冷めたわけではない」と確信している。「草の根レベルで変化は起きている。脱原発に向けた本当の戦いはこれから」【梶原遊】